

丸徳グループ

車両分科会

だ

よ

り

Vol.30

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ 一時停止の正しい知識
- ・ 運転支援システムを過信・誤解しない
- ・ 交通ヒヤリハット（運転中の熱中症）
- ・ 愛知県警からのリーフレット8月

一時停止の正しい知識

① 一時停止の定義

一時停止とは、車両が道路の標識や表示に従い、完全に停止して安全確認を行うこと

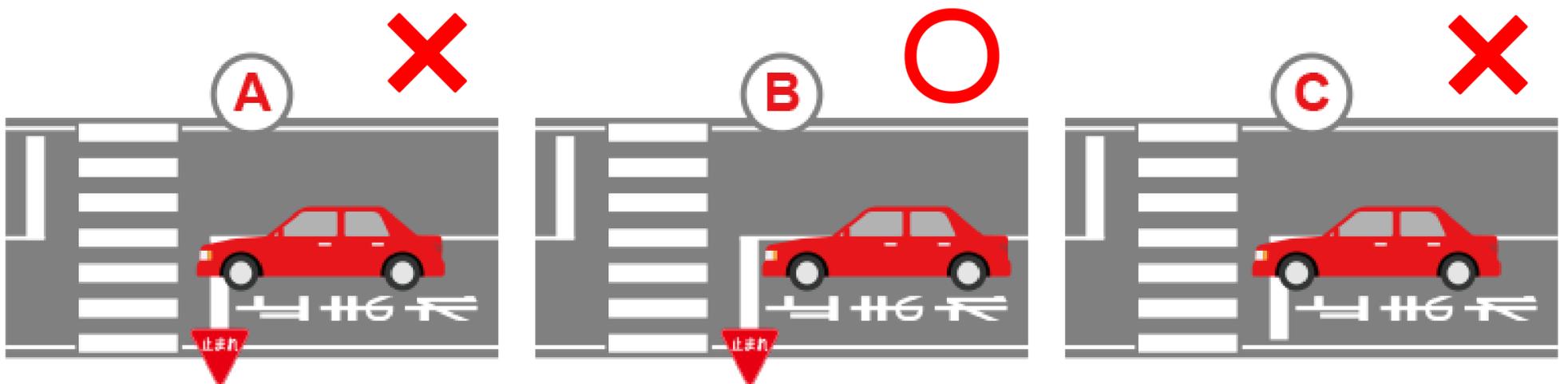
② 一時停止の標識

一時停止標識は道路上でよく見かける、赤い三角形に白い「止まれ」の文字が書かれているもの



③ 停止する位置

停止線がある場合はその直前、停止線がない場合は交差点の直前で、車を完全に停止させる



④ 停止時間

完全に停止して、左右と前方の安全確認をしてから発進するには、数秒間は必要

歩行者や自転車の一時停止について

① 自転車

- ・ 道交法で「軽車両」に該当
- ・ 車同様、一時停止の義務が発生する
- ・ 道交法改正により平成27年6月1日から「自転車運転者講習制度」が施行
- ・ 3年以内に2回の取り締まり、または2回以上交通事故を起こした運転者は、「自転車運転者講習」を受けなくてはならない



② 歩行者

車両に含まれないので、一時停止義務なし

ドライバーにとって一時停止のルールを守ることは義務です。一時停止の指定場所は、必ず危険が潜んでいるので、止まって安全確認しましょう。「**かもしれない運転**」を実践し、安全にドライブを楽しみましょう。

運転支援システムを過信・誤解しない

車線維持支援装置

車線中央を走行するように
ハンドル操作をアシスト



全車速追従クルーズコントロール

先行車を一定の車間距離で追従
渋滞時には発進・停止をアシスト



1. 運転支援システムが作動しない状況の例

車線維持装置作動中

白線が見えない



追従機能作動中

急な割り込み



2. 運転支援システムの機能を誤解している例

携帯電話の操作



ナビ画面の注視



**車を走行する時は、進行方向を
必ず目視で確認して運転しましょう。**

交通 ヒヤリハット

ヒヤリ：運転中の熱中症



状況

夏場に停車していた車に乗車して走行していた所、めまい・吐き気がしてきた。



ヒヤリ

病院に行った所、脱水症状だった。車内は涼しくても直射日光が当たると体温が上昇し熱中症になる。

体調が悪くなったらすぐに駐車し休憩をしましょう。
水分を補給し、頭・手足を冷却しましょう。
最初は軽度でも急に重症化する事もあります。
ムリな運転は、重大事故につながります。
車を運転する時は、「**ムリな**」運転は、危険です。



スピード落とせ

～ 二輪車の事故に注意 ～



二輪車の交通死亡事故の特徴

※過去5年間に県内で発生した人身交通事故を分析

二輪車区分 自動二輪（排気量51cc以上） 一般原付（排気量50cc以下）

右直単独 速度超過

右直とは →

- ・交差点での右折車と直進車の衝突事故
- ・二輪車の直進時の死亡事故が多い
- ・今年も **右直** の死亡事故が3件発生！
(全て二輪車が直進)

四輪車・二輪車の交通事故動画



右直事故

二輪車が当事者となる死亡事故では

8割が二輪車が直進

そのうちの

9割の二輪車が
制限速度超過

バイクはまだ遠くに見える
右折できそう

曲がってきた！？
スピードが速すぎて止まらない！！

思っていた以上にスピードが速かった！！

曲がってこないだろう

単独事故

二輪車の単独死亡事故では

5割の二輪車が制限速度超過

カーブで曲がりきれなかったり、ハンドル操作を誤り電柱やガードパイプ等に衝突

スピードが速いけどカーブまで距離があるから大丈夫

ブレーキをかけたけど、曲がれる速度まで減速できなかった！

スピードが速すぎると、カーブを曲がりきれなかったりブレーキをかけても減速が間に合いません！

交通事故防止のPOINT

スピードを落とす！！

スピードが速いと、危険を認識しても安全に停止できません！ 衝突時の被害も大きくなります！

二輪車は遠くて遅い！？

二輪車は小さいため、実際の距離よりも遠く見え、スピードも遅く見えてしまいます！

四輪車の方は、右折する際に二輪車との距離をしっかりと確認しましょう！

「かもしれない」運転で交通事故防止！！

「相手は自分の存在に気付いていないかもしれない」「曲がってくるかもしれない」等の予測運転が、交通事故防止に繋がります！